

報告3 施設設備委員会

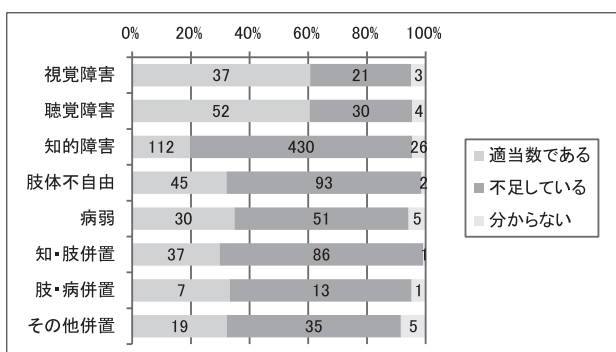
<研究主題>

インクルーシブ教育システムの構築に向けた施設設備上の課題

施設設備専門委員会の共通項目は、施設設備の基本的設置状況、併置校の課題、危機管理、センター的機能、インクルーシブ教育システムの課題、スクールバス、IT化に関する設問に大別される。

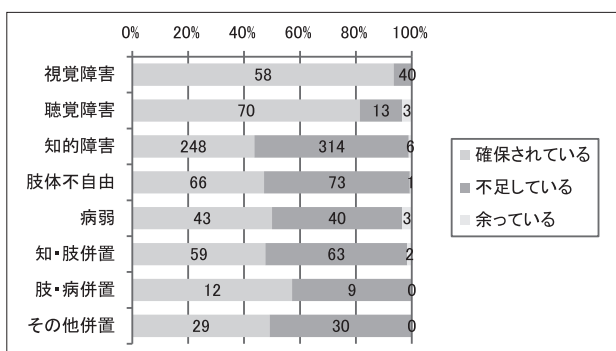
回答の集計では、各種別、知肢併置、肢・病併置、その他の併置、の8校種に分けて集計した。施設設備の障害類型別課題、状況等が具体的に把握できるようになっている。

【67学校数の妥当性】



視覚障害、聴覚障害では学校数の充足感が6割あるが、他の種別では2～3割にとどまる。知的障害では7割以上が、学校数が不足と回答している。

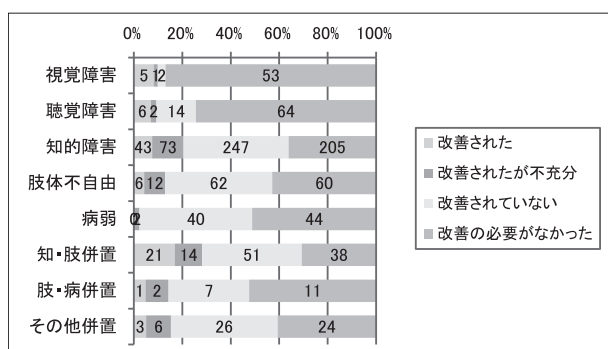
【68普通教室数の確保状況】



視覚障害では9割、聴覚障害では8割以上が、確保されていると回答しているが、他の障害類型では5割前後にとどまっている。普通教室が不足してい

ると回答した学校数は、合計で546校あった。

【69普通教室数の改善状況】



普通教室の不足が改善された学校数は85校、改善されていない又は改善されたが不十分な学校数は558校で、改善が不十分な状況が続いている。

【70併置校か単独校か】

この設問に回答した1145校のうち267校が併置校で、併置校の割合は約23パーセントである。知・肢併置が約120校、その他併置が約40校と続く。

【71併置に伴う課題の有無】

併置校の内、6割強が施設設備上の課題があると回答している。

【72併置に伴う施設設備の課題】

併置に伴う共通の課題は、普通教室の確保と特別教室の不足、バリアフリー化の不足、増設に伴う狭隘化等があげられる。

知・肢併置校の具体的な課題は、エレベーター・スロープの不足、段差の解消、クールダウンスペースの確保、冷暖房設備の充実、厨房設備、老朽化対策、施設設備と障害特性の不一致、導線の交差や長さ、があげられている。

知的障害では、高等学校との併設による施設設備上の課題も挙がっている。

病弱では、病院等の施設の借用に伴う、教室不足、修理や改修、費用の分担等の課題が挙がっている。

上記以外に、化学物質過敏症への対応や、防音（視覚障害）等の課題が挙がっている。

【73施設設備の設置状況】

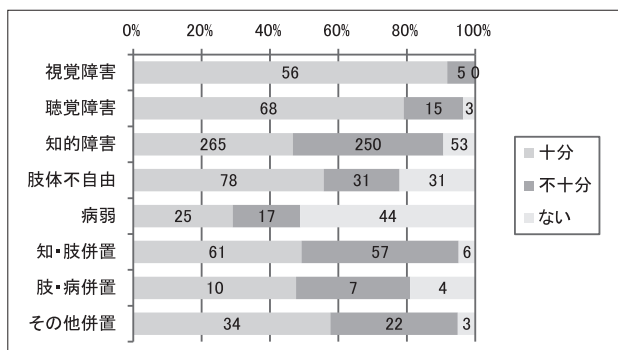
	ランチルーム	スロープ	エレベーター	空調設備	身障者用トイレ	温水便座	AED	床暖房のある部屋	寄宿舎	校庭の芝生化
視覚障害	46	35	44	55	56	36	61	9	56	17
聴覚障害	59	44	44	71	64	39	85	7	55	24
知的障害	272	315	368	489	469	353	548	71	100	156
肢体不自由	53	112	105	131	138	100	135	44	39	45
病弱	6	39	59	79	74	55	70	13	5	11
知・肢併置	75	102	105	120	119	96	120	47	24	34
肢・病併置	14	19	20	19	20	18	20	5	5	7
その他の併置	32	41	47	55	56	45	58	16	16	18

【74空調設備の設置場所】

	全普通教室	一部の普通教室	全特別教室	一部の特別教室	体育館
視覚障害	24	23	13	28	3
聴覚障害	39	22	21	40	4
知的障害	336	112	165	193	31
肢体不自由	115	14	71	30	39
病弱	63	9	37	17	10
知・肢併置	86	30	54	41	24
肢・病併置	18	1	9	5	5
その他の併置	45	9	26	14	11

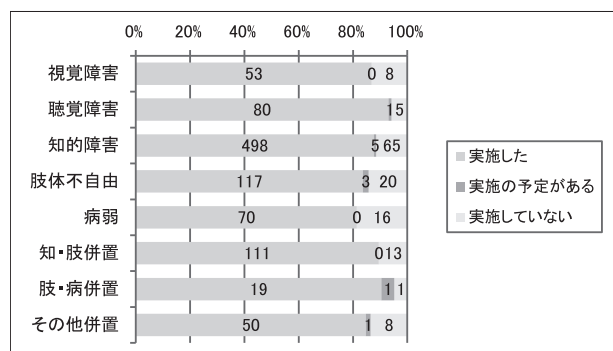
Q74で空調設備があると回答した学校の設置場所である。大きな変化はない。

【75校庭の広さ（児童生徒数に対して）】



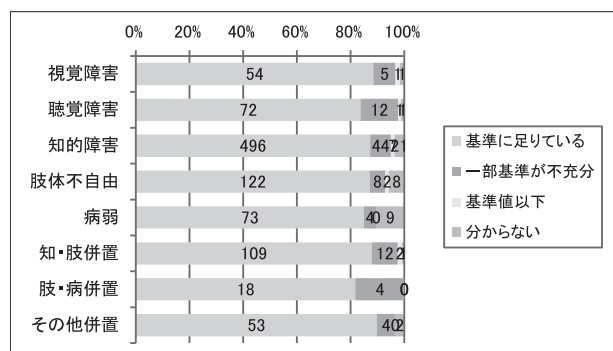
視覚、聴覚以外では、校庭がない、又は広さが不十分な学校が半数を占めている。

【76耐震診断の実施状況】



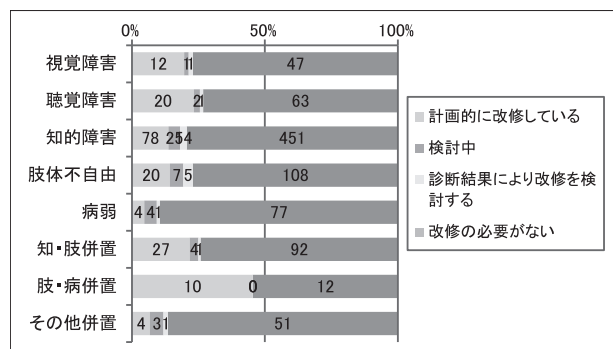
耐震診断を実施していない学校数は100校である。

【77耐震基準の達成状況】



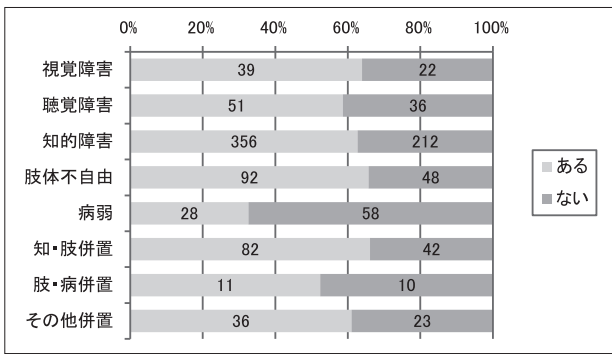
耐震基準以下の学校は13校、一部耐震基準以下は93校、分からないは43校である。

【78耐震改修工事の予定】



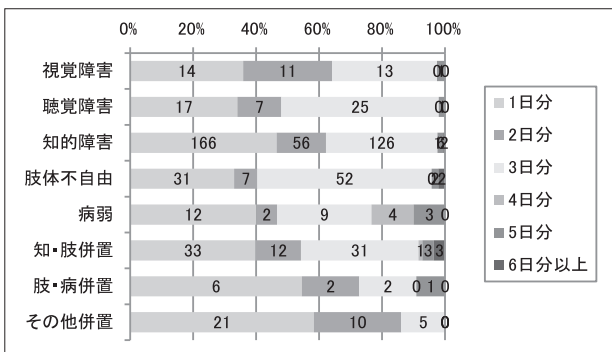
耐震改修工事を計画している学校は175校あり、早急な耐震化実施が望まれる。その他、耐震診断結果により改修を検討する学校が24校ある。

【79児童生徒用備蓄食料品の有無】



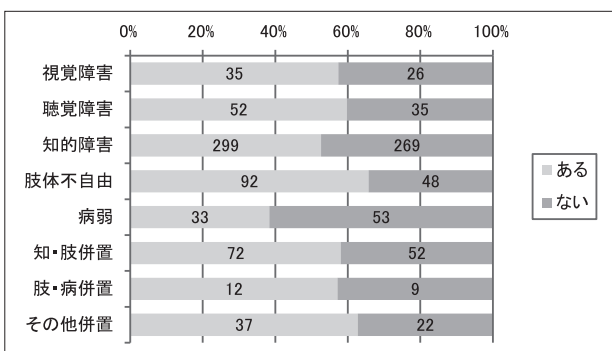
どの校種も、児童生徒用食料品を備蓄している学校は、6割程度にとどまっている。病弱では、備蓄のある学校は3割程度で、病院内設置などの学校設置状況の特徴が現れていると思われる。

【80備蓄食料品の分量】



備蓄食料品を備えている学校の、分量の内訳である。1日分のみの学校が4割と多く、3日分、2日分と続く。

【81災害対策用品の有無】

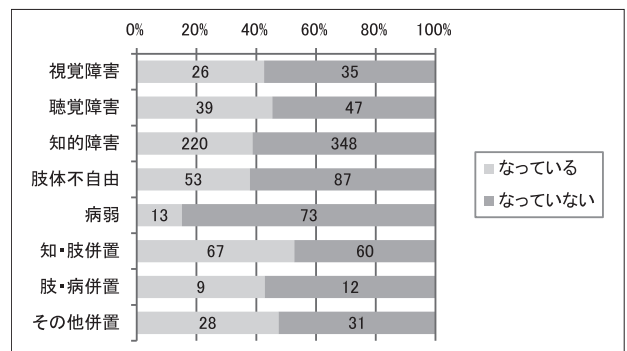


病弱を除き、どの校種も約6割の学校が災害対策用品を備えている。備えている学校数は、昨年度より増加傾向である。

【82災害対策用品の種類】

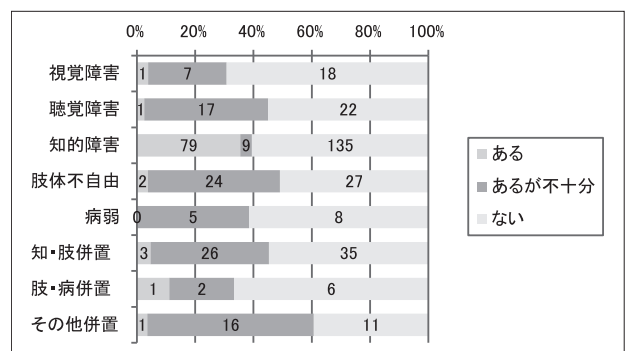
	視覚障害	聴覚障害	知的障害	肢体不自由	病弱	知・肢併置	肢・病併置	その他併置
毛布	23	37	208	69	22	57	8	30
仮設トイレ	13	21	121	33	9	32	3	7
非常用発電機	23	33	216	85	22	69	10	31
簡易コンロ	16	26	137	44	15	36	5	15
ガスボンベ	15	23	103	44	13	32	5	11
ジャッキ	5	9	33	9	1	9	0	2
チェーンソー	4	12	41	41	3	10	0	3
パール等工具	12	21	124	39	16	32	4	11
投光器	14	21	118	32	13	29	1	12
ヘッドライト	5	11	70	23	7	15	5	8
安全靴	4	3	17	5	4	6	0	1
軍手・皮手	19	30	172	56	24	40	8	14
防災ラジオ	26	34	194	56	22	48	10	23
濾過機	3	6	33	10	4	10	1	2
緊急用保温シート	15	20	135	44	14	32	6	16
石油ストーブ	15	26	145	40	15	34	5	16
白灯油	16	18	102	32	8	23	4	13

【83避難所指定の有無】



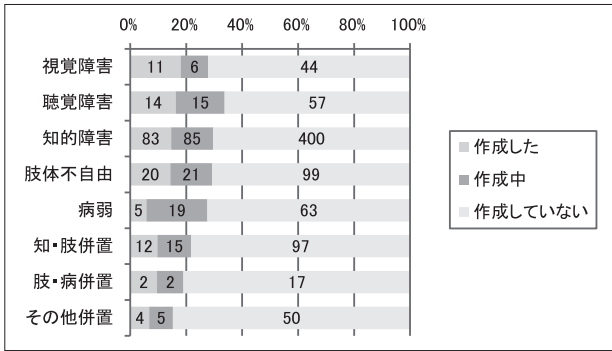
おおむね4割程度の学校が避難所に指定されている状況である。

【84避難所運営物資の有無】



避難所に指定されているものの、避難所運営物資がない学校が6割程度あり、課題である。

【85大災害発生後の学校再開プラン（BCP）作成】



BCPを作成した、又は作成している学校は、2～3割程度で、意義の浸透が必要である。

【86特別支援教育推進のための設備等】

	自立活動室	教育相談室	観察室	検査室・検査器具室	障害種別に対する施設設備	バリアフリー化	ブレイルーム	保護者控室	その他
視覚障害	38	58	10	16	30	23	42	24	1
聴覚障害	53	73	14	78	34	13	54	56	5
知的障害	136	405	57	64	37	179	304	102	56
肢体不自由	98	94	18	11	55	105	82	84	14
病弱	9	54	3	8	10	44	27	15	14
知・肢併置	86	96	19	24	35	79	91	55	8
肢・病併置	16	18	2	3	7	18	14	15	1
その他併置	28	47	15	22	15	33	36	23	5

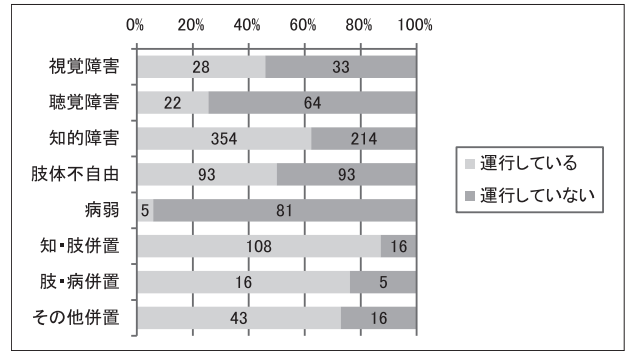
【87インクルーシブ教育システムの特徴的な設備の有無】

知的14校、知・肢7校、肢体6校、視覚、肢・病、その他併置各3校、聴覚2校が、あると回答。

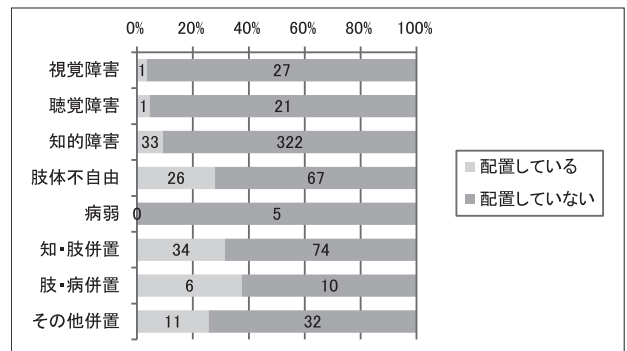
【88インクルーシブ教育システムの特徴的な施設の概要】

視覚障害	補助具、支援機器、機器展示室、通級指導教室等
聴覚障害	集団補聴設備、タブレット端末
知的障害	小学校・発達センターと併設、中学校と併設、高等学校と併設(3)、カフェ(2)、支援室設置、地元住民が使用できる部屋(2)
肢体不自由	小学校と併置、中学校と併置、車椅子利用の学校図書施設、重力軽減環境訓練システム等
病弱	テレビ会議システムで病室から学校の授業参加
知肢併置	バリアフリー化、デジタルサイネージ（電子掲示板）、支援センターと併設、オープンスペース等
肢病併置	スロープ、エレベーター、身障者用トイレ等
その他併置	小学校と共有のグラウンド等

【89スクールバスの運行状況】

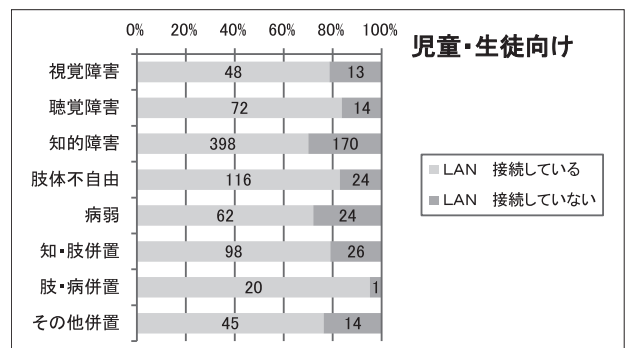
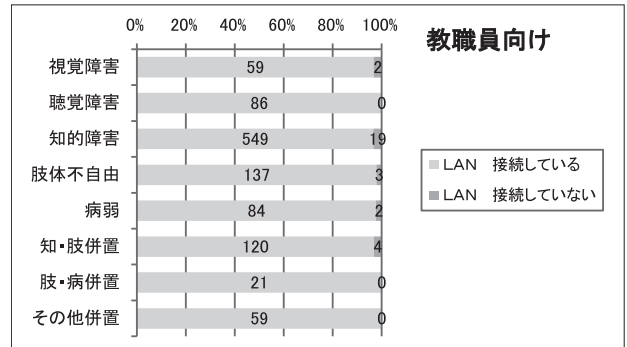


【90低床型バスの配置】

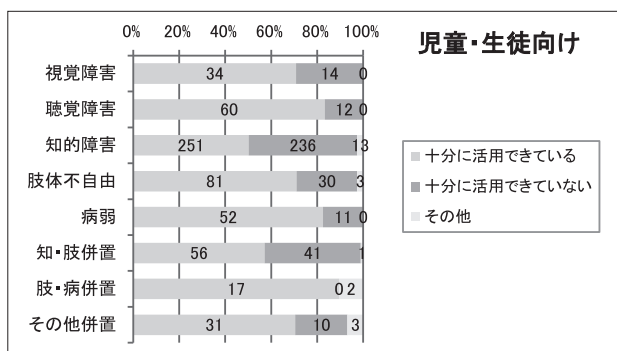
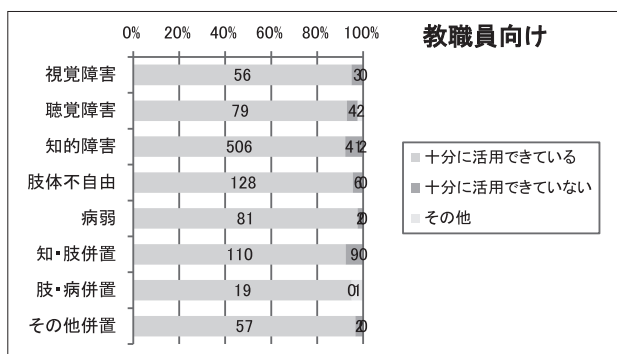


スクールバスを運行している学校の内、肢体不自由で低床型バスを配置している比率が高い。

【91校内LANの導入状況】

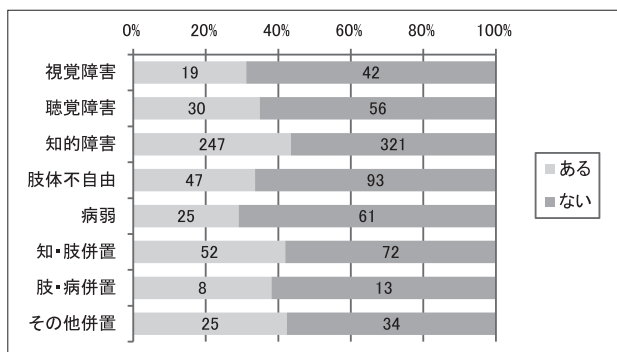


【92校内LANの活用状況】



教員向けは、9割以上が十分に活用できている。
 児童・生徒向けは、7～8割活用の校種がほとんどで、特に知的で活用が進んでいない状況（5割未満）がある。

【93キャリア教育のITネットワーク】



就労・福祉情報に関する学校間ネットワークの整備状況は、どの校種も4割程度である。